

2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 25日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	田原 慎二
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際分業のもとでの産業構造変化と経済成長に関する実証研究 基本価格表示の国民経済計算をはじめとする経済統計の推計手法改善に関する研究 				
研究キーワード	国民経済計算、産業連関表、産業構造変化、経済成長	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	

1. 研究成果の概要

「国際分業のもとでの産業構造変化」に関しては論文を1本作成し、雑誌『エコノミア』に投稿した。経済統計に関しては JIP データベースの作成方法について取りまとめ、書籍『サービス産業の生産性と日本経済 JIP データベースによる実証分析と提言』に収録された。経済統計に関する歴史的研究として、我が国におけるコモディティ・フロー法推計の歴史的経緯について整理し、学会発表を行った。

また、当初の研究計画書には記載していなかったが、市川市を対象とした産業連関表の概算値と報告書を作成した。市川市の産業連関表についてはデータを精査したうえで、確報として今後公表をおこなう予定である。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

「国際価値連鎖のもとでの国際生産構造の変化—国際産業連関表を用いた実証分析—」、田原慎二、単著、『エコノミア』、第72巻第2号、79—94頁、2022年

『サービス産業の生産性と日本経済 JIP データベースによる実証分析と提言』、深尾京司編、2021年、東京大学出版会、第1章を分担執筆で担当。

【学会発表等】

「我が国の国民経済計算におけるコモディティ・フロー法の経緯について」、環太平洋産業連関分析学会大会、2021年11月、中野サンプラザ

3. 主な経費

2021年度は参考文献となる書籍・資料の収集に主に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【その他の活動】

- ・経済社会総合研究所客員研究員（内閣府）
- ・産業連関技術会議委員（総務省）
- ・県民経済計算推計アドバイザー（内閣府）